

# 令和6年度 都城市立菓子野小学校 学校評価報告書

※4段階評価（4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

評価項目	評価指標等	方策・手立て	学校の自己評価（学校職員）		学校関係者評価（学校運営協議会委員）	
			評価	結果の考察・分析及び改善策等	評価	本年度の学校評価に対する意見等
1 基礎学力の向上	① 基礎的・基本的学習内容の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力学習状況調査・県学力状況調査等での成果アップ</li> <li>○ 単元テスト、CRTテスト等での目標達成</li> <li>○ 主題研究を通した授業や指導法の改善</li> <li>○ 有効的なタブレットの活用</li> <li>○ 学習訓練の徹底</li> <li>○ 子どもたちが主役の授業「わ・さ・び」の実施</li> <li>○ 各種学習状況調査の結果の活用</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題研究では、国語科において児童が主体的に学びに向かう「問い合わせ」のもたせ方や学びに参加するための「学び方」の指導について行ってきた。指導教諭から国語科の指導の在り方を示してもらい、授業づくりに取り組み、研究授業や実践報告等で実践することができた。</li> <li>○ 教師の基礎・基本が身に付いているかの項目が低い。学力の個人差を考慮して評定した所もある。</li> <li>○ 児童の読書意欲に関しては、図書館サポーターや朝の読み聞かせなどとの連携や取組から年間貸出冊数の4000冊の目標を達成することができた。本に関する意識での個人差が大きく、家庭での読書習慣の定着までには至っていない。</li> <li>○ ノーメディアの項目が低い。家庭の実情からメディアコントロールに変えるなど項目を工夫していく必要もある。</li> <li>○ 週末などタブレットを使った家庭学習が定着してきた。保護者のアンケート結果から進んで取り組む児童で肯定的な意見が8割を超えており、家庭学習について話し合うことも必要である。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童一人一人が興味をもって取り組む授業をさらに研究を進め実践して欲しい。</li> <li>○ オープンスクールで参観をしたが、授業態度もよくのびのび答えていて元気がある。</li> <li>○ 基礎・基本の定着については、個人差もあり難しいことであるが、授業中のチェックの工夫や繰り返しドリル的なことも必要だと思う。</li> <li>○ 朝の読み聞かせは、子ども達がいつも集中してよく聞いており読む方も楽しみにしている。図書室のいつも楽しい掲示等で充実している。</li> <li>○ タブレットの活用と読書が両立できていると感じる。</li> <li>○ 家庭での読書の項目が低いのが残念である。各家庭の考え方によると思うが、何か手立てがあるといい。</li> <li>○ メディアについては、家庭での指導が重要であると考える。学校では、危険性等を指導して欲しい。今の時代ノーメディアの考え方は、難しい時代だと感じるので考え方を変えていかなければと思う。</li> <li>○ 家庭学習でもタブレットの活用が充実していることは、これから的生活では必要であると思う。また、一方では、自分で読む、書く、計算も学力向上に欠かせないと思う。自分の事を考えても機会が減ってきてるのが心配になる。また、生の授業のよさも残して欲しい。</li> <li>○ タブレットの活用は、子どもの将来を考えると必要不可欠と考える。更に充実させて欲しい。</li> </ul>
	② 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の読書意欲向上</li> <li>○ 読書習慣の定着</li> <li>○ 読み聞かせの全学年実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館教育の充実（図書館サポーターとの連携）</li> <li>○ 読書活用の工夫と意欲付け</li> <li>○ 読み聞かせボランティアとの連携</li> </ul>		
	③ 家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭と連携した家庭学習の習慣化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 懇談会等での保護者への啓発</li> <li>○ タブレットを使った家庭学習の推進</li> </ul>		
2 豊かな心の育成	① 命を大切にする心や態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いやの心の醸成</li> <li>○ 「特別の教科道徳」や学級活動の実践</li> <li>○ 環境美化の推進</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員研修の実施（SOSの出し方に関する）</li> <li>○ 道徳の時間の指導の工夫</li> <li>○ 学級活動の指導の工夫</li> <li>○ 心のプレゼント運動</li> <li>○ 命の大切さを考える日の設定</li> <li>○ ボランティア活動、一人2植え活動の実施</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ SOSの出し方に関する推進校として、職員研修や授業を計画的に実践することができた。毎月1日に、その月の命を大切にするテーマの話をしてきた。今後も全教育活動を通して、命を大切にする心を醸成していきたい。</li> <li>○ 保護者、教師、児童と規範意識の高揚に関して肯定的な意見が多かった。やや保護者の言葉遣い等、教師のマナーや思いやの項目が低いので、引き続き指導、称賛していきたい。</li> <li>○ 毎月「心のアンケート」を行い、児童の困り事を早期発見し、適切な対応をすることことができた。F I F委員会では、今後も児童の細かな変化について、職員間で情報を共有したり関係機関と連携したりして問題への迅速な対応をしていきたい。</li> </ul>
	② 基本的な生活習慣の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規範意識の高揚</li> <li>○ 気持ちよい挨拶や正しい言葉遣い</li> <li>○ 無言移動、無言清掃</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員の共通理解と共通実践・指導の徹底</li> <li>○ 学級活動、日常指導の工夫</li> <li>○ 各清掃場所での無言清掃の指導の工夫</li> </ul>		
	③ 人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お互いを認め合う心の育成</li> <li>○ いじめ・問題行動等の発生防止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全校・異学年交流の実施・清掃活動・集会活動</li> <li>○ アンケートによる実態把握、教育相談、F I F委員会の実施</li> </ul>		

評価項目	評価指標等	方策・手立て	学校の自己評価（学校職員）		学校関係者評価（学校運営協議会委員）	
			評価	結果の考察・分析及び改善策等	評価	学本年度の学校評価に対する意見等
3 健 康 安 全 教 育 の 推 進	① 体力向上プランの確実な実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動に取り組む環境</li> <li>○ 体力テストの結果の考察</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標をもって楽しく運動ができる体育科学習指導の工夫</li> <li>○ 運動の日常化の工夫</li> <li>○ 体育施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力テストの結果では、男子が48項目中28項目、女子が33項目で県の平均を上回り、女子の成績が伸びた。立ち幅跳びの結果がやや低かったので今後も体育指導での運動量の確保など課題を意識した取組を行い県の平均を上回る項目を増やしていくたい。</li> <li>○ 夏季休暇中に大きな地震があり、9月の避難訓練では、具体的に命を守る体勢等について指導を行った。また、タブレットを活用して台風後の安否確認を行い情報を収集することができた。</li> <li>○ 「弁当の日」は、全児童が自分のコースを決め各家庭で意欲的に取り組むことができていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動の日常化は難しい部分もあるかと思うが、少しでも機会を与えることが必要である。</li> <li>○ 今後様々な災害や異常気象が起こる可能性が高いので避難所や避難経路等についても確認しておくとよい。</li> <li>○ いつも元気な子ども達の様子が見られる。外での運動や遊びは、学校での活動が大事だと感じる。</li> <li>○ 大きな地震が続き危機意識も高まっていると思う。日頃の備えが必要になっている。学校での実践と家庭や地域との連携をつなげ防災について取り組んでいってほしい。</li> <li>○ 大きな地震があり、改めて防災の大切さを学べているのは良いことだと思う。</li> <li>○ 弁当の日は、親のありがたみが分かるよい機会にもなると思う。</li> </ul>
	② 健康安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災体制の見直しや整備による安全確保</li> <li>○ 緊急時等の連絡体制整備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3防体制（防災、防犯、防疫）の確立</li> <li>○ 「S i g f y」による情報の発信と共有化</li> </ul>		
	③ 食に関する指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「子どもがつくる弁当の日」の実践</li> <li>○ 給食指導の充実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年に応じた「子どもがつくる弁当の日」の実践</li> <li>○ 養護教諭と担任の連携した指導</li> </ul>		
4 ふ る さ と 学 習 推 進	① 地域の教育資源の積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と関連させた総合的な学習の時間「きらめきタイム」の充実</li> <li>○ 伝統芸能の継承</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材・人材の活用</li> <li>○ 地域の各種団体等との連携</li> <li>○ 保存会と連携した俵踊りの継承・発表の機会の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 米づくりや芋栽培など地域の人材や素材を生かした学習に十分取り組むことができた。米づくりではふるさと祭りで、お米の販売活動を行うなど新たな取組ができてよかった。</li> <li>○ 登下校の見守り隊や朝の読み聞かせボランティアの協力があり安全・安心して過ごすことができている。</li> <li>○ 地域の人材や保存会の協力をいただきながら、俵踊りの伝承活動を継続することができた。また、福祉協議会の活動、検定受検などの参加者が昨年より増えている。</li> <li>○ 学校ホームページや学校だより、新聞投稿など保護者及び地域への情報発信を積極的に行った。保護者の学校の取組や活動が伝わり、分かりやすいという意見が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の方々との連携や野外活動等は子ども達や地域にとってもいいことなので、活動を大切にして続けて欲しい。</li> <li>○ 児童の積極的な取組が見られる。今後も地域素材や人材を活用した活動を継続してほしい。</li> <li>○ 地域の方やボランティア等で安心して登校できている。協力してくださる方々に感謝の気持ちをもてる子どもになって欲しい。</li> <li>○ 朝の見守り隊のメンバーが若い世代にも受け継がれていいと思う。</li> <li>○ 俵踊りは、菫子野小学校の伝統なので今後も継続して取り組んで欲しい。</li> <li>○ ふるさと祭りで新しい取組でお米の販売活動ができたことはよかった。</li> <li>○ 地区での子どもとの交流で環境美化、三世代交流、おねっこを実施した。子ども達の参加が多く、高齢者と関わり楽しい地域行事となった。</li> <li>○ 通学路の整備を保護者が実施した。今後継続して欲しい。</li> <li>○ 学校ホームページ、学校だより、いつも楽しみに拝見している。保護者や地域への情報発信が充実している。</li> </ul>
	② 地域や各関係機関と連携した体験活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校支援ボランティア組織の活用</li> <li>○ 各関係機関と連携した体験活動</li> <li>○ 地域行事への積極的参加</li> </ul>				
	③ 教育活動の外部への情報発信・共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校だよりの発行</li> <li>○ ホームページの充実</li> </ul>				
5 信 頼 さ れ る 学 校 づ く り	① 教職員の資質向上 ② 家庭・地域との連携・協働 ③ 学校運営協議会の充実 ④ 小中一貫教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンプライアンスの遵守</li> <li>○ 家庭・地域との連携</li> <li>○ 学校運営協議会を活用した実践</li> <li>○ 庄内地区小中一貫教育、幼保小連携の推進</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修の実施、日常の取組</li> <li>○ 情報交換と情報発信</li> <li>○ 地域と連携した安全教育の取組</li> <li>○ 学校評価の活用</li> <li>○ 小中一貫教育の共通実践</li> <li>○ 中学校や幼稚園・保育園との情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の不祥事を未然に防ぐために、庄内地区で小中合同コンプライアンス研修を行った。また、日々交通違反など職員の意識の高揚を図った。</li> <li>○ 学校運営協議会で、県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」に参加することで他県の情報等を共有することができた。</li> <li>○ 小中一貫教育での共通実践事項など庄内地区で学習、生活で取り組んでいる取組を保護者に周知する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 庄内地区でも研修等の取組をしていて、職員のコンプライアンス意識が高まっていることは良いことだと思います。</li> <li>○ 小中一貫教育については、保護者までなかなかとどいていないのかもしれない。情報発信して実践へとつなげていく手立てが必要かもしれない。</li> <li>○ 県民総ぐるみに参加して他県や他市の取組を知ることはとても大切なことだと感じた。</li> <li>○ 取組の最終目標が明確になれば、保護者も理解し、積極的に活動できるのではないか。</li> </ul>

#### 次年度方向性

- 子どもたちが主役の授業「わ・さ・び」の実施と学力向上に向けた取組
- 『命の大切さを考える日』を中心とした心の教育や生命尊重の教育の充実

- 教育DXの推進による働き方改革

- 子どもを褒めのばす情報発信の充実

- 『心のプレゼント運動』等を基にして、保護者や地域との連携・協働